

今週の感染症発生動向

- ◆マイコプラズマ肺炎は増加傾向
- ◆腸管出血性大腸菌感染症は、今年になって69例(過去最高)

★一類～五類全数報告感染症の発生状況(第46週)

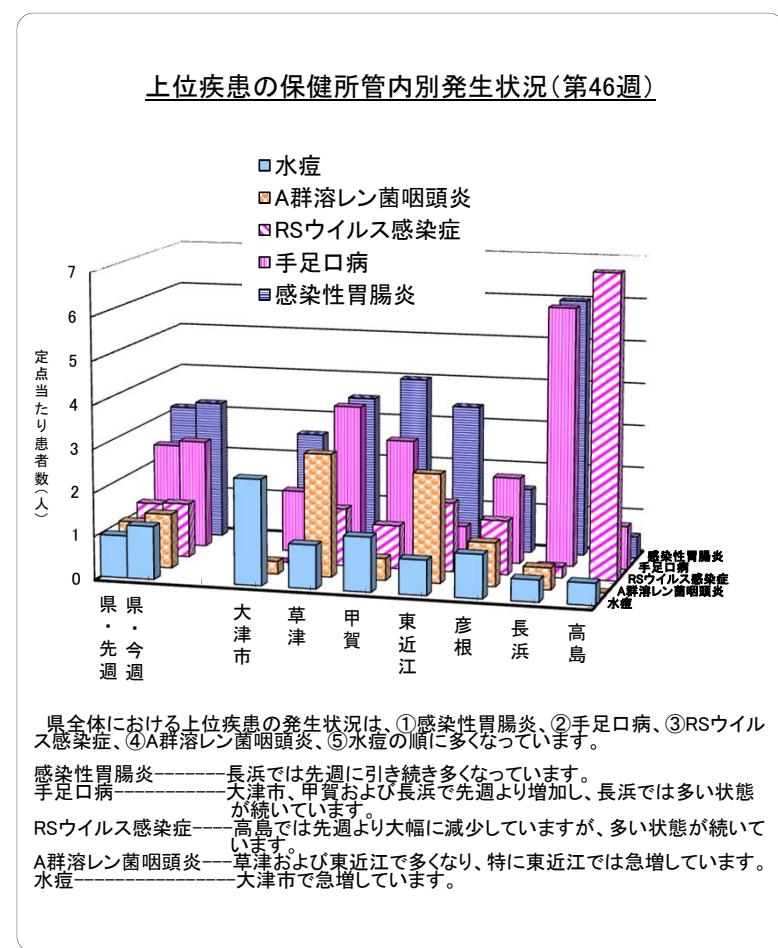
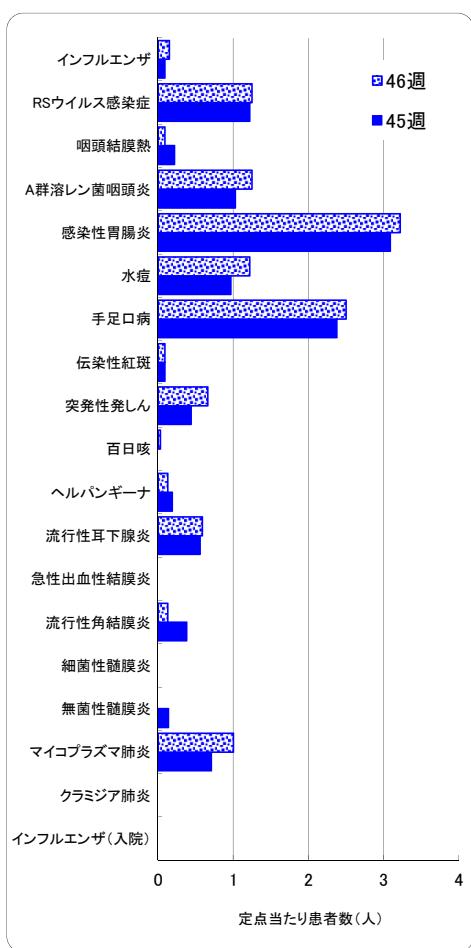
- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---結核 9名
- ・三類感染症---腸管出血性大腸菌感染症 1名(無症状病原体保有者、血清型・毒素型: O157・VT1+VT2)
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---報告はありません

腸管出血性大腸菌感染症の平成23年11月23日現在の届出数は69名で、男性36名、女性33名です。診断の類型は患者44名、無症状病原体保有者25名です。また、届出保健所管内別では大津市20名、草津19名、甲賀4名、東近江16名、彦根5名、長浜5名です。

★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(340名)より増加し、今週は364名となっています。今週、増加した疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、マイコプラズマ肺炎等で、減少した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)、ヘルパンギーナ等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。また、マイコプラズマ肺炎は先週に引き続き増加し、昨年同時期よりかなり多くなっています。マイコプラズマ肺炎の年齢群別発生割合は、(3)今週の発生状況に示すとおりです。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとおりです。



1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成23年 累積報告数		平成22年 累積報告数 ^(*)1)		平成21年 累積報告数 ^(*)2)	
		滋賀 (46週)	全国 ^(*)3) (45週注)	滋賀	全国 ^(*)3)	滋賀	全国 ^(*)3)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	285	26,328	251	26,704	256	26,996
三類感染症	コレラ	0	10	0	10	1	16
	細菌性赤痢	3	270	2	235	0	181
	腸管出血性大腸菌感染症	69	3,615	66	4,131	27	3,889
	パラチフス	0	20	1	21	0	27
四類感染症	E型肝炎	0	50	0	66	1	56
	A型肝炎	0	166	3	346	0	115
	オウム病	0	13	1	11	0	21
	つつが虫病	0	234	2	406	0	465
	デング熱	1	90	2	245	0	93
	マラリア	0	70	0	76	0	56
	レジオネラ症	10	694	10	751	8	717
五類感染症	アメーバ赤痢	2	710	7	845	10	786
	ウイルス性肝炎	1	209	3	222	3	223
	急性脳炎	1	219	0	241	8	526
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	116	2	171	2	142
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	173	3	127	2	103
	後天性免疫不全症候群	4	1,259	1	1,549	9	1,446
	ジアルジア症	1	54	1	80	0	70
	梅毒	6	686	9	621	3	691
	破傷風	1	99	0	106	3	113
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	55	2	121	0	116
	風しん	2	343	5	89	2	147
	麻しん	1	418	1	455	7	732
	新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(*)4)	0	0	0	138	12,654
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	9	26	0	59	0	34

注：46週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

* 1: 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年3月現在)。

* 2: 感染症発生動向調査事業年報(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年4月確定)。

* 3: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

* 4: 感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間:平成21年7月24日～8月24日)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。

また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一ヵ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したもので、(患者報告数=定点当たり患者数×定点数)

(1) 疾病別・週別発生状況(平成23年第41週～46週、10/10～11/20)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数(↑前週より増加　→前週と同じ　↓前週より減少)										
			41週	42週	43週	44週	45週	46週	週				
			10/10～	10/17～	10/24～	10/31～	11/7～	11/14～	42	43	44	45	46
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.02	0	0.02	0.11	0.09	0.15	↓	↑	↑	↑	↑
小児科	32	RSウイルス感染症	1.19	0.97	1.06	1.03	1.22	1.25	↓	↑	↓	↑	↑
		咽頭結膜熱(プール熱)	0.03	0	0.06	0.13	0.22	0.09	↓	↑	↑	↑	↓
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	1.16	0.72	0.78	1.03	1.25	↑	↓	↑	↑	↑
		感染性胃腸炎	2.53	2.72	2.81	2.91	3.09	3.22	↑	↑	↑	↑	↑
		水痘	0.47	0.72	0.94	1.09	0.97	1.22	↑	↑	↑	↑	↑
		手足口病	2.63	2.47	2.34	2.22	2.38	2.50	↓	↓	↓	↑	↑
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.06	0	0.03	0.09	0.09	→	↓	↑	↑	→
		突発性発しん	0.38	0.91	0.59	0.56	0.44	0.66	↑	↓	↓	↓	↑
		百日咳	0.03	0	0	0	0	0.03	↓	→	→	→	↑
		ヘルパンギーナ	0.25	0.13	0.16	0.13	0.19	0.13	↓	↑	↓	↑	↓
眼科	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.50	0.25	0.31	0.66	0.56	0.59	↓	↑	↑	↓	↑
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		流行性角結膜炎	0.50	0.50	0	0	0.38	0.13	→	↓	→	↑	↓
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0.14	0.14	0	↓	→	↑	→	↓
		マイコプラズマ肺炎	0	1.00	0.57	0.57	0.71	1.00	↑	↓	→	↑	↑
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		インフルエンザ(入院)*	0	0	0	0.14	0	0	→	→	↑	↓	→

* : 平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況(第46週、11/14～11/20)

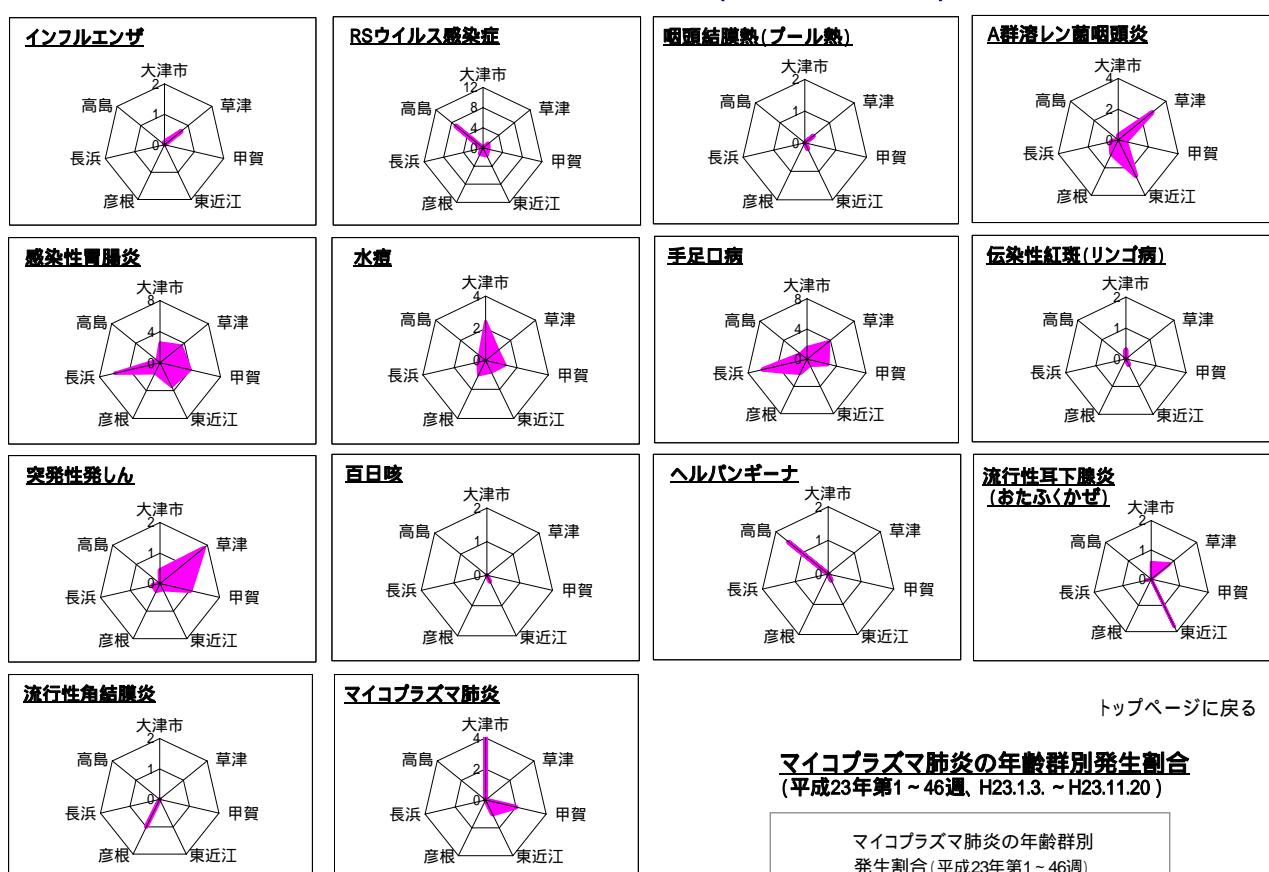
疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							疾患別発生状況(県)	
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.15	0.09	0.70	0	0	0	0	0	■
RSウイルス感染症	1.25	0	1.33	1.00	1.60	1.25	0.25	7.00	■■
咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.09	0	0.33	0	0.20	0	0	0	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.25	0.29	2.83	0.50	2.60	1.00	0.50	0	■■
感染性胃腸炎	3.22	2.57	3.50	4.00	3.40	1.50	6.00	0.50	■■■■
水痘	1.22	2.43	1.00	1.25	0.80	1.00	0.50	0.50	■■
手足口病	2.50	1.43	3.50	2.75	0.80	2.00	6.00	1.00	■■■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0.29	0	0	0.20	0	0	0	■
突発性発しん	0.66	0.43	1.83	1.00	0.20	0.25	0.25	0	■
百日咳	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	■
ヘルパンギーナ	0.13	0	0	0	0.20	0	0	1.50	■
流行性耳下腺炎(あたふくかぜ)	0.59	0.57	0.83	0	1.80	0	0.25	0	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
流行性角結膜炎	0.13	0	0	0	0	1.00	0	0	■
細菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
無菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
マイコプラズマ肺炎	1.00	4.00	0	2.00	1.00	0	0	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	■
インフルエンザ(入院)	0	0	0	0	0	0	0	0	■

赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。

青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

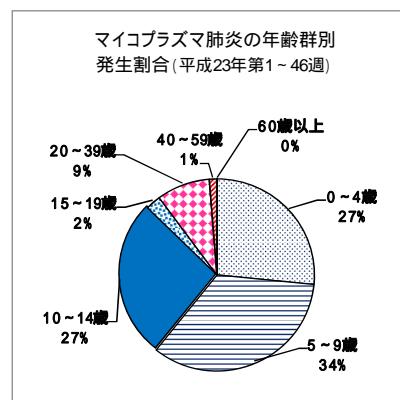
0 1 2 3 4
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



トップページに戻る

マイコプラズマ肺炎の年齢群別発生割合
(平成23年第1～46週、H23.1.3.～H23.11.20)



滋賀県における年齢群別発生割合は、上記グラフのとおりです。全国における第43週現在の年齢群別発生割合は、0～4歳37%、5～9歳30%、10～14歳15%、15～19歳3%、20～39歳8%、40～59歳3%および60歳以上5%となっています。

(3) 今週の発生状況

<インフルエンザ>

先週より増加し、今週は、大津市および草津保健所管内から報告されています。

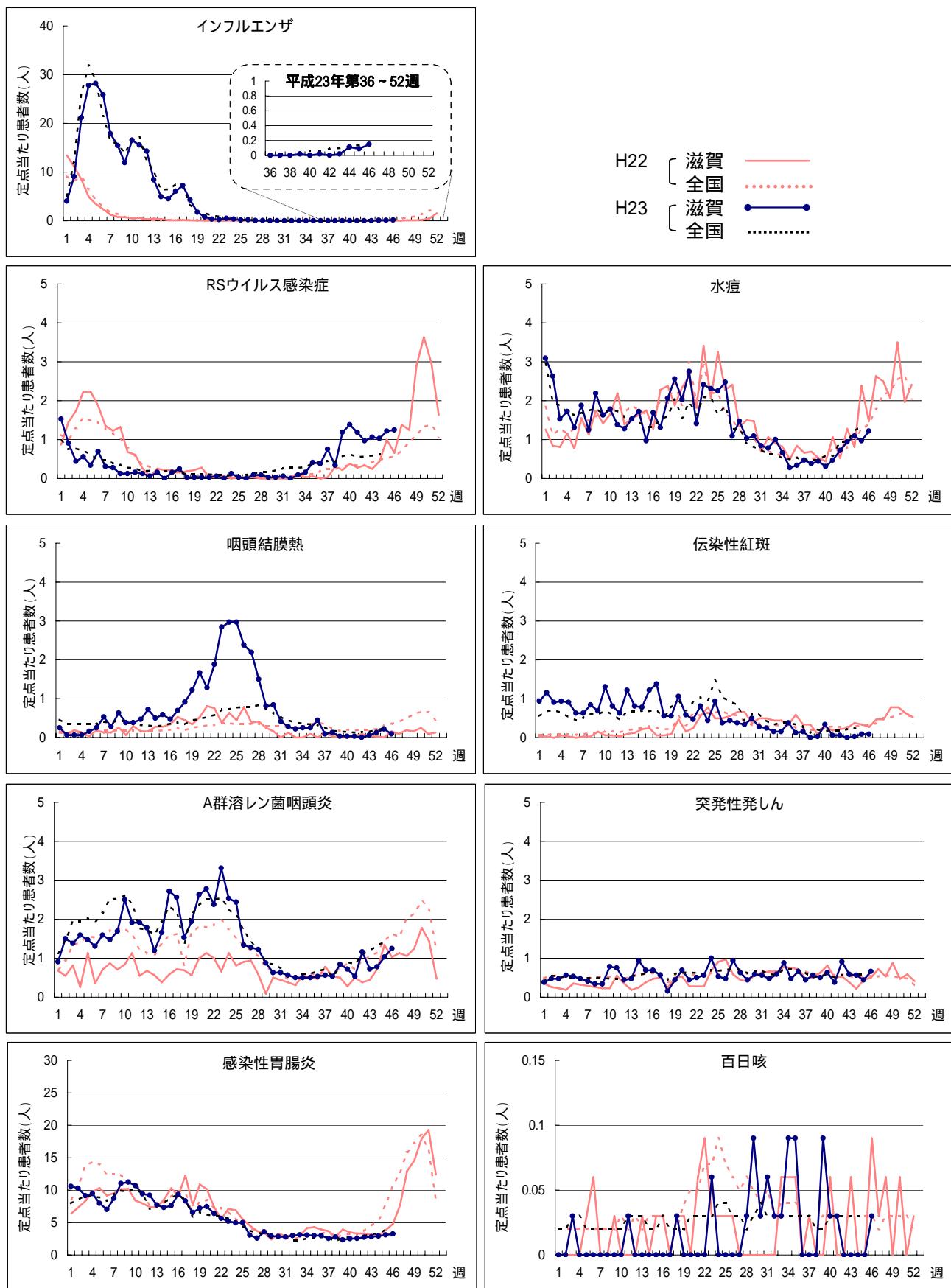
<手足口病>

長浜保健所管内では先週より増加し、定点当たり患者数は6.00と多くなっています。また、引き続き警報終息基準値を超えていました。

<マイコプラズマ肺炎>

先週と同様、大津市保健所管内からの報告が多くなっています。また、甲賀および東近江保健所管内からも報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成23年第1～46週、H23.1.3～H23.11.20)



[トップページに戻る](#)

疾病別定点当たり患者数
(平成23年第1～46週、H23.1.3～H23.11.20)

H22 滋賀
全国
H23 滋賀
全国

